

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0866

住 所 川崎市川崎区水江町6-10

氏 名 コアレックス三栄株式会社

代表取締役社長 黒崎 泰

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	コアレックス三栄株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区水江町6-10		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	14	パルプ・紙・紙加工品製造業
主たる事業 の内容	難再生古紙を原料として家庭紙を製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	19,513	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	33,803	t -CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成29年度 ～ 平成31年度（報告年度 平成30年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 83,071 t-CO ₂ (調) 44,995	(実) 82,264 t-CO ₂ (調) 46,449	(実) 79,695 t-CO ₂ (調) 36,397	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 81,825 t-CO ₂ (調) 43,749
削減率		(実) 1.0 % (調) -3.2	(実) 4.1 % (調) 19.1	(実) % (調)	(実) 1.5 % (調) 2.8

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量（抄造量）		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	1.693	1.639	1.549		1.667
削減率		3.2 %	8.5 %	%	1.5 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	基準年度よりも稼働日数が増え、生産数量もそれに伴い増えたため 電気・ガスの使用量は増加したが、焼却に投入された廃プラが減少したため全体のCO ₂ 排出量が削減できた。
第2年度	生産数量の増加に伴いガス排出量も増加したが無駄なエネルギー使用の合理化も進め結果、原単位ベースの改善が大きかった。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

全社目標は基準年に対して大幅に達成できている。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	CO2排出原因の半分近くを占める、電気・ガスの使用量を削減する為その使用効率のアップを図る。
	第1年度	結果的には生産設備のトラブルが続き、電気・ガスの使用効率アップは果たせなかったが、外部からの廃プラ購入量の削減効果によって全体のCO2排出量を削減することが出来た。
	第2年度	製品販売が回復し生産数量が増加したこと及びエネルギーの効率的使用に努めたこともあってガス排出量の原単位改善を達成できた。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	エネルギー使用割合の高い製紙工程関連設備の効率的運転。
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">・年間4000人以上にのぼる内外の見学者を受け入れ、難再生古紙のリサイクル利用について説明をしながら、資源の大切さ、環境保全の大切さについて理解を深めてもらうことで、地球温暖化対策推進に貢献している。・エコドライブ制度推進協力
第1年度	計画どおり推進。
第2年度	基本的な計画の維持推進ならびにエネルギー使用の効率化を実施。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	79,289	t-CO ₂
(調)	35,991	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東京工場	川崎区水江町6-10	1442	家庭紙製造	79,289 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東京工場	川崎区水江町6-10	1442	家庭紙製造業	79,289 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--